

地域包括支援センターだより

暮らしのコンシェルジュ

当センターは、高齢者の暮らしについてさまざまな相談や要望に応える『よろず相談窓口』です。暮らしのコンシェルジュに多く寄せられるご相談と対応を紹介します。

今月は、『認知症を疑うサイン』について取り上げてみたいと思います。

- 相談内容…料理自慢だった母の味付けが最近変わってきました。これって認知症が疑われますか。他にも、認知症を疑う言動について教えてください。
- 対応策…認知症を疑う言動について説明します。

味覚の変化は、一概に認知症の症状だと断言はできません。老化による味覚の衰えや偏った食生活による亜鉛の不足、薬の副作用など原因は多岐に渡りますが、幻聴や幻視などと共に認知症を疑うひとつのサインにはなります。

認知症を疑う「あれ？」「おかしいな？」の代表例

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 家族の名前を間違えはじめ | <input type="checkbox"/> 身だしなみを構わなくなる |
| <input type="checkbox"/> 昔から知っているモノや人の名前が出てこない | <input type="checkbox"/> 同じものを何個も買って来る |
| <input type="checkbox"/> 亡くなった人が生きているような話をする | <input type="checkbox"/> 料理に時間がかかるようになる |
| <input type="checkbox"/> 同じことを何度も言ったり、聞いたりする | <input type="checkbox"/> 財布の中が小銭でいっぱいになっている |
| <input type="checkbox"/> 脈絡のないことを突然言い出す | <input type="checkbox"/> 薬をよく飲み忘れる |
| <input type="checkbox"/> 約束をよく忘れるようになる | |

認知症は、ある日突然発症する病気ではありません。前触れとして、小さな異常サインを必ず出しています。ここに挙げたサインのうち、いくつか思い当たるものがあれば、かかりつけ医に相談してみましよう。

大崎町でも『認知症初期集中支援チーム』が発足しました。

認知症の疑いのある人や認知症の人の自宅を訪問し、病院受診や介護サービスにつなげる活動を行います。

◆まずはご相談ください

地域包括支援センター ☎471-7828

在宅介護支援センター（回生園） ☎477-2525

保健福祉課介護福祉係 ☎476-1111

認知症疾患医療センター メンタルホスピタル鹿屋 ☎0994-36-1870（専用番号）

